

2020年度 防災教育チャレンジプラン活動報告会

守ろう自分の命、家族の命 ～高める防災力の輪～

岐阜県立大垣特別支援学校



発表の流れ

1. 学校紹介
2. 活動報告
3. 成果・課題

1. 学校紹介





岐阜県立大垣特別支援学校

知的障害、肢体不自由、病弱の障害を受け入れている併置校

児童生徒数 234名

所在地 岐阜県大垣市

- * 巨大地震があった場合、市の約8割で液状化現象
- * 養老-桑名-四日市断層帯が近くにあり、直下地震で大きな被害が想定



これまでの防災活動

1. 学校防災計画（災害対策マニュアル）を策定し様々な災害に対応する体制づくりを進めてきた。
2. **引き渡し訓練**や**安否確認に関する情報収集**等、災害時の対応について**家庭と連携**を図ってきた。
3. 防災に関する**地域との連携**はほとんど行っていなかった。

児童生徒・職員の命を守りきることができる？

- 児童生徒にもっと防災に触れてもらう。
 - 児童生徒が自分の命は自分で守ろうとする態度や知識、技能の育成
- 児童生徒の学習を家庭にフィードバックする。
 - 児童生徒の力で家族の命を守る
- 学校、家庭、地域が連携する。
 - 共助の力で命を守り抜く



守ろう自分の命、家族の命

～高める防災力の輪～

学校・家庭・地域の防災力の輪を強化

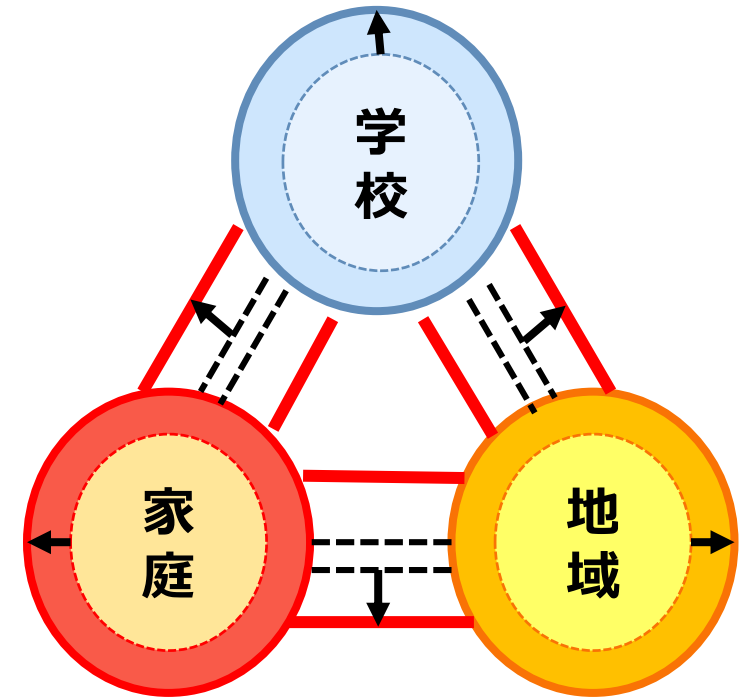
それぞれの防災力強化



防災力の輪を強化



自助・共助で命を守り抜く



2. 活動報告

学校

- ①職員防災カテスト
- ②命を守る訓練
シェイクアウト訓練
- ③防災掲示板
- ④生活単元学習

家庭

- ⑤家庭の防災力を高める
情報発信
 - ・家庭の減災カテスト
 - ・情報発信
- ⑥災害伝言ダイヤル
クイズ

地域

- ⑦合同研修会

①職員防災力テスト

★学校防災計画（災害対策マニュアル）の周知徹底

- ・これまでは冊子の回覧
→内容が理解できている？災害発生時、適切な行動ができる？

本当に確認できている？

○教育委員会が運用するグループウェアのアンケート機能使用

- ・全職員のパソコンにテスト用紙やテスト結果を配信できる。

○毎月実施

- ・学校防災計画（災害対策マニュアル）から4問出題
- ・回答集計
- ・テスト結果と解説配信

1. 警報発生時や地震発生時の対応について

(1) 学校の隣を流れる杭瀬川が氾濫した場合の浸水深や洪水・浸水時の事前の準備、対応として正しいものはどれか。(複数選択)

- 1. 1階は浸水してしまうため、ヘルメットを着用し、直ちに外に避難する。
- 2. 停電時は、エレベーターの使用ができなくなるため、車椅子を使用している児童生徒への協力体制を組む。
- 3. 浸水想定は0.5～1.0未満(1階床上浸水)である。
- 4. 可能な場合は、重要書類や備蓄品を上階へ移動させる。

1 2 3 4

(2) 校外学習中の地震に対する備蓄品の対応について正しいものはどれか。(複数選択)

- 1. 活動場所や移動経路上での避難場所を事前に確認し、周知する。
- 2. 道路が寸断され、帰校できない場合は、近くの避難所まで待つ。
- 3. 地震の規模や被害状況の把握が不明な場合は、1階まで待つ。
- 4. 電車やバス等の公共交通機関を利用の場合は、乗務員や運転士の指示に従って避難する。

1 2 3 4

**正しいものを
チェック**

(3) 授業中の避難時の対応について正しいものはどれか。(複数選択)

- 1. 避難指示に従う。場合によっては、教職員が判断する。
- 2. 地震発生時、火を使っていた場合は、すぐに火を消し、元栓を開けてからシェイクアウトをする。
- 3. 教職員で協力して、児童生徒を列の前方からのみ誘導する。
- 4. 負傷や事故等で動けない場合は、応援を要請する。

1 2 3 4

2. 備蓄について

(1) 児童生徒の自助バッグの準備や留意点について正しいものはどれか。(複数選択)

- 1. 9食分の食糧を入れる。
- 2. 食物アレルギーのある児童生徒は、アレルギーに関係なく備蓄食を準備してもらう。
- 3. 保存期間については、確認・入れ替えを行うので、半年程度、冷蔵で保存できるものを準備してもらう。
- 4. 備蓄菜を準備する時は、3日分の備蓄菜、「菜の使用依頼書(非常時)」、「菜の説明書(処方箋)」のコピー、「非常用の菜管理カード」を入れてもらう。

1 2 3 4

1. 警報発生時や地震発生時の対応について

(1) 学校の隣を流れる杭瀬川が氾濫した場合の浸水深や洪水・浸水時の事前の準備、対応として正しいものはどれか。(複数選択)

1. 1階は浸水してしまうため、ヘルメットを着用し、直ちに外に避難する。	21	85.2
2. 停電時は、エレベーターの使用ができなくなるため、車椅子を使用している児童生徒への協力体制を組む。	135	95.1
3. 浸水想定は0.5～1.0未満(1階床上浸水)である。	81	57
4. 可能な場合は、重要書類や備蓄品を上階へ移動させる。	118	83.1

正解: 2,3,4

〈解説〉

・1階は浸水してしまうため、ヘルメットを着用し、直ちに外に避難します。
 ・2階以上の職員は、A棟又はC棟の2階以上に避難します。

**チェック数
正解率**

(2) 校外学習中の地震に対する備蓄品の対応について正しいものはどれか。(複数選択)

1. 活動場所や移動経路上での避難場所を事前に確認し、周知する。	133	93.7
2. 道路が寸断され、帰校できない場合は、近くの避難所まで待つ。	37	73.9
3. 地震の規模や被害状況の把握が不明な場合は、1階まで待つ。	48	66.2
4. 電車やバス等の公共交通機関を利用の場合は、乗務員や運転士の指示に従って避難する。		

**正解率
80%以下は
要チェック**

②命を守る訓練・シェイクアウト訓練

命を守る訓練

新型コロナの影響で…

- ・全校が集合できない
→訓練日を2日間設定（学部別）
- ・分散避難をマニュアルに追加
→避難場所を2カ所設定
（トランシーバーを使った連絡体制）

シェイクアウト訓練

- 毎月実施
→繰り返しの練習で定着
- 非告知で実施
→より災害に近い状況で
- 様々な警報音（受信機・スマホ）
→学校以外の場所での対応力
- シェイクアウトしたまま事後指導
→避難場所の安全確認

③防災掲示板

いつでも・誰でも防災学習

- 校舎1階中央廊下に設置
(児童生徒・職員・保護者)
- 3ヵ月ごとに内容更新
 - ①6～9月・・・備蓄について
 - ②10～12月・・・地震対策
 - ③1～3月・・・水害、土砂災害



④生活単元学習（防災学習）

見て・触れる
防災学習

小学部5年生
「まちたんけん」

地震で倒れてくるよ！
離れて歩こう！



地図を作り



使用後は交流校に提供

完成した地図ですごろく 🎲



楽しく・繰り返し

危険な場所、対応方法を確認

中学部3年生 「守ろう自分の命、家族の命」

校内・家庭内DIG

家族と取り組む
防災学習

- 校舎内の危険な物や場所を調べ、**対策方法を仲間と相談**
- 家族と一緒に**家の中の危険な物や場所を調べ、**対策方法を相談**

清流の国ぎふ 防災・減災センター

地震対策

屋内危険性チェック

●ステップ1 チェックする部屋を選ぶ
重い家具や背の高い2段積み・ガラス板はめ込まれた家具などがある部屋を選ぶ

●ステップ2 下図の描き方

- 窓やドアの位置を描く
- 家具(棚、机、ベッドなど)の置き場所を描く
- 棚の上に置くガラス製品などの物品位置に印をつける
- 照明やエアコン、車輪の付いたワゴンやコピー機の置き場所を描く

記入例

●ステップ3 下図を描く

①居間・台所 ②寝室

③子ども部屋 ④その他

●ステップ4 危険な範囲に斜線を描く

棚などの転倒、照明落下、窓ガラスの飛散箇所など
(注1) 棚などの転倒の場合、家具の高さと同程度に矢印を付けると、下敷きになる範囲が分かる
(注2) 車輪付のワゴン、冷蔵庫、コピー機などの移動範囲にも印を付ける

●ステップ5 家全体のチェックポイント
転倒・移動した物品により、避難ルートがつぶされることもチェックする

●ステップ6 対策を考える

- 転倒・移動する家具の対策は「固定する、下ろす、向きを変える、人の出入りの少ない部屋に移動する(集める)、捨てる」があります。
- 転倒した家具や割れたガラスで屋外に出ることが大変困難になりますので、普段過ごす部屋から屋外への避難経路を考えておきましょう。

対策を正しく行うためには... 家具固定やガラス飛散防止を行う際、対策商品の注意書きに従って正しく使用しましょう。なお、下記の検索キーワードで「東京都消防庁」・「総務省消防庁」のビデオマニュアルも必ず確認しましょう。

家具固定 ビデオライブラリー 消防庁 検索

我が家は大丈夫?

これだけ準備しても、家が倒壊してしまったら...

昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の場合は、まずは耐震診断を受けてみましょう! 耐震診断は無料で受けることができます。また、耐震補強工事には、県や市町村から補助金が出ます。詳しくは下記の検索キーワードで検索しましょう。

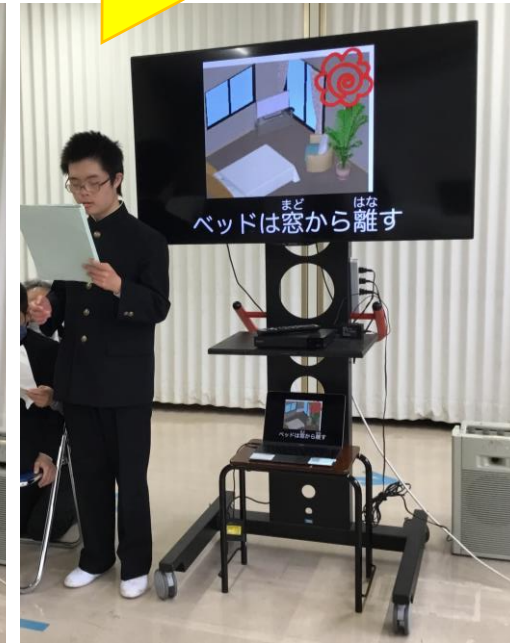
ぞの耐震リフォームネット 検索

作成: 清流の国ぎふ 防災・減災センター 第2版 (高齢者等の「家庭内DIG」を基に作成)

愛知県立豊橋特別支援学校との防災学習交流授業

- 日時 令和2年11月20日（金） 9時30分～10時00分
- 対象 両校とも中学部3年生
- 内容 ①はじめのあいさつ ②学習発表（豊橋）＊質問タイム
③学習発表（大垣）＊質問タイム ④おわりのあいさつ

仲間の質問に自分の言葉で返答



・豊橋特別支援学校の生徒に質問「非常用リヤカーはどうやって使いますか？」

・校内、家庭内DIGで学習したことを発表「枕元のガラスや人形がガシャーン！ドーン！と落ちてきます。」
「ベッドは窓から離す、枕元に物を置かないようにしましょう。」

高等部3年生 「修学旅行事前学習」

旅行先は安全？

将来に生きる
防災学習

- 修学旅行先の高山市の地理・災害を調べよう
「旅行先は安全？どうやって調べよう？」
- ハザードマップを作成し、**活動場所や避難場所、避難経路を確認**

- インターネット等で
資料集め
- 現地の人に聞いてみよう！**
→高山市在住の
教員に質問



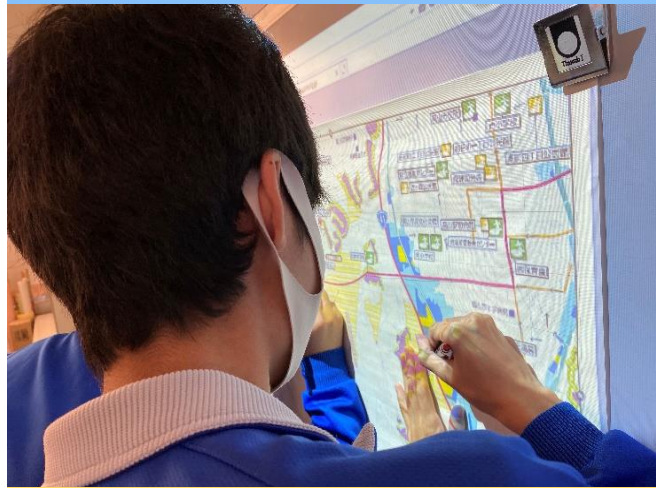
雪はどのくらい積もりますか？



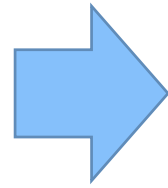
生活は大変ですがとってもキレイですよ！

地震や大雨だけでなく、
雪による災害を知った

ハザードマップを投影し
模造紙に下書き



被害想定場所に色画
用紙を貼る



ハザードマップに活動場所と
避難場所を記入し避難経
路を確認



- 土砂災害が多い
- 活動場所、避難経路も土砂災害警戒区域
- 避難場所も遠い

早めの避難が必要

ハザードマップで土砂災害警戒区域が多いですが気を付けていることは？

- ・避難場所の確認をしておく。
- ・冬に電気がなくても暖かくなるように石油ストーブ等用意しておく。
- ・学校では雪の日の避難訓練をしたりしています。

雪が積もると、グラウンドに入れないので別の場所に避難します。

⑤ 家庭の防災力を高める情報発信

家庭の減災力テスト

- 実施月 ① 7月 ② 12月
- 実施方法 ・「減災教室」を使用 * 1
- ・家庭で実施していただき、結果集計
- ・①で課題把握し情報発信、②で変容確認

第1回 家庭の減災力テスト（7月）

<テスト結果>

- ・平均点 50.4 点
- ・風水害や土砂災害、近所づきあいの項目の点数が低かった。

編著：岐阜大学教授高木朗義 企画：一般財団法人 Do It Yourself 協力：岐阜県教育委員会 (2017年改訂)

減災教室 減災力テスト

まず回答 → [次] 〇 個 × 5 = _____ 点 [合計] _____ 点 → [最後に] やろうと思った項目の [いつやるか] に〇印で回答

Q 質問	〇 △ ×	いつやるか	Q 質問	〇 △ ×	いつやるか
Q1 住んでいる町の地震(じしん)のゆれの大きさを地図で確かめていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q17 住んでいるところの水害や土砂災害であぶない場所を地図で確かめていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q2 地震(じしん)でゆれても、自分の家はこわれませんか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q18 住んでいるところの水害や土砂災害であぶない場所を自分の目で確かめていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q3 地震(じしん)でゆれても、おている部屋や家族が集まる部屋や台所の家具はたおれませんか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q19 水害や土砂災害が起こりそうな時、避難(ひなん)所に行くか、高い所に行くか、今の所にいるか、また、そこまでどうやって行くかを決めていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q4 重い家具や本などがおれてこないところ、ガラスや照明がわれて落ちてこないところに、自分や家族はねていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q20 自分や家族で避難(ひなん)を考えるために、雨や川の水位の情報(じょうほう)を見えていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q5 地震(じしん)でゆれた時や、ゆれることがわかった時、頭や体などを守っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q21 道路に水があふれていて、避難(ひなん)場所へ行くことがあぶない時、家で過ごす用意ができていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q6 海の近くにいる時に地震(じしん)でゆれたら、高い場所に避難(ひなん)することができますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q22 水害や土砂災害の時にどうするか、家族で話し合っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q7 災害の時でも使えるように、けい帯電話のバッテリーを持っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q23 自治会(町内会)や子ども会、町のそらじ、町の運動会に、いつも参加していますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q8 電気・ガス・水道が使えなくても、家族は1週間くらい食べられますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q24 災害の時にどうするか、どんな備えをするか、近所の人と話し合っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q9 停電しても、1週間くらい灯りと暖房(だんぼう)はだいじょうぶですか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q25 近所で災害の時に助けが必要な人を知っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間
Q10 家族が別々の場所で地震(じしん)にあった時にどうするかなど、地震(じしん)の時にどうするか、家族で話し合っていますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間	Q26 住んでいる町の防災訓練(ぼうさいくんれん)に、いつも参加していますか?	〇	今 1 1 1 週 か 月 年 日 間

* 1 岐阜大学教授高木朗義、一般財団法人 Do It Yourself

家庭への情報発信（保健だより）

○保健だよりに防災情報を掲載（他分掌と連携）

○内容

- ・7月→地震発生時の避難方法
- ・9月→台風への備え
 - *避難行動判断フロー配付
- ・11月→避難所確認
 - *新型コロナ対策含む

しんがた か ひろん
新型コロナ禍での避難について

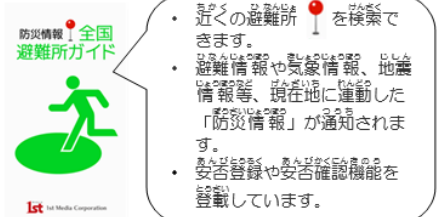

新型コロナウイルスが流行している現在でも、大地震等の災害時は、避難所で生活することも考えなければなりません。多くの方が集まる避難所では、個人での感染予防が大切です。避難が必要になった場合の対策について考えておきましょう。また、避難場所についても、家族で話し合い、事前の確認をお願いします。

＜事前の対策＞

- ・マスクを着けることを習慣にしましょう。
- ・持ち出し袋には、マスクや消毒、体温計を入れておきましょう。

＜避難場所の確認＞

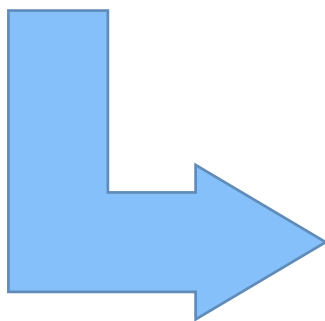
- ★家族で取り組んでみましょう★
- ・近くの避難場所を確認しましょう。
- ＊全国避難所ガイド（アプリ）を活用しよう！
- ・散歩をしながら避難経路や避難所の設備を確認しましょう。



防災情報 全国避難所ガイド

- ・近くの避難所を検索できます。
- ・避難情報や気象情報、地震情報等、現在地に連動した「防災情報」が通知されます。
- ・安全登録や安全確認機能を搭載しています。

1st 1st Media Corporation



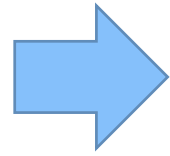
第2回 家庭の減災力テスト（12月）

＜テスト結果＞

- ・平均点54.3点
 - *約4点高くなった
- ・風水害や土砂災害の項目の点数が高くなった。

⑥ 災害伝言ダイヤルクイズ

資料配付の
啓発活動



実際に災害伝言ダイヤルを使う取組みへ

- 期間 8月31日～9月5日（体験期間）
- 内容
 - ①保護者案内（操作手順付）・解答用紙配付
 - ②学校がキーワード録音「じしんだんごむし」
 - ③学校が録音したキーワードを家庭で確認
回答用紙に記入
 - ④回答用紙提出

さいかいでんごん
災害伝言ダイヤルクイズ

かいどうようし
解答用紙

ぶ ねんせい なまえ
部 年生 名前

キーワード

じしんだんごむし

*キーワードを記入し、9月7日（月）までに担任にご提出ください。

⑦ 合同研修会

自治会との合同研修会

- 講師 伊藤三枝子様（清流の国ぎふ 女性防災士会会長）
- 参加者 当校管理職、防災担当、自治会長、自治会防災士会



開放場所の確認



体育館・寄宿舍・グラウンドの図面でHUG

- ・収容人数が足りない
- ・コロナ対応を要検討
- ・必要物品の準備は？



様々な課題

3. 成果・課題

児童生徒

- 防災に関して学習したことを自分の言葉で表現したり、疑問に思ったことを聞くことができるようになった。
- 自分の住んでいる地域の災害についてもっと調べたいという感想があり、**防災学習への意欲の高まり**が感じられた。(高等部3年生)

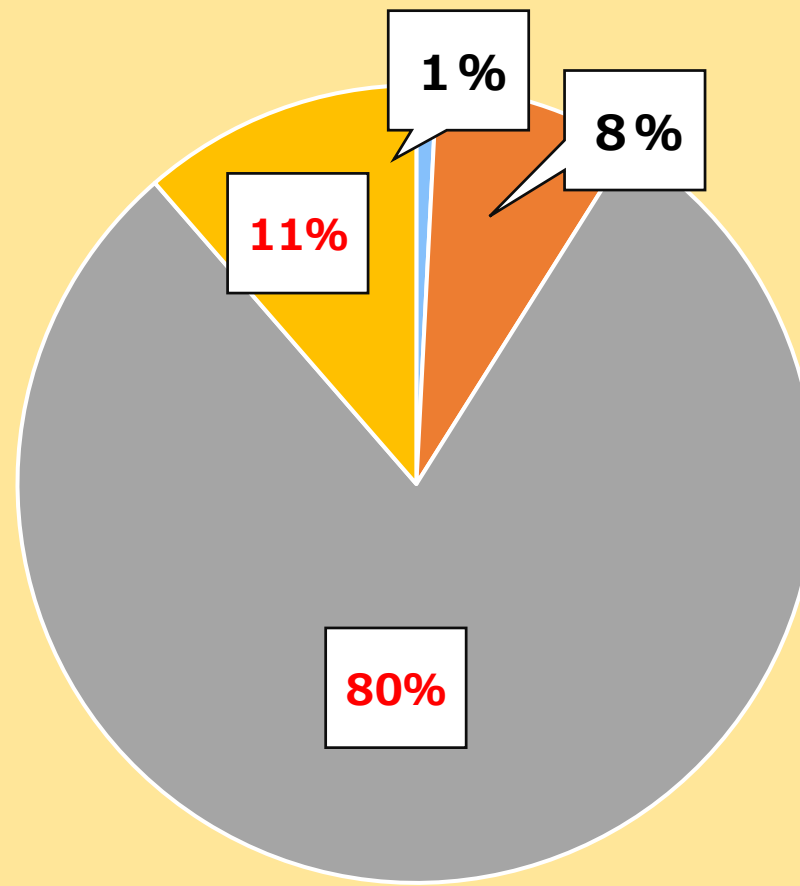
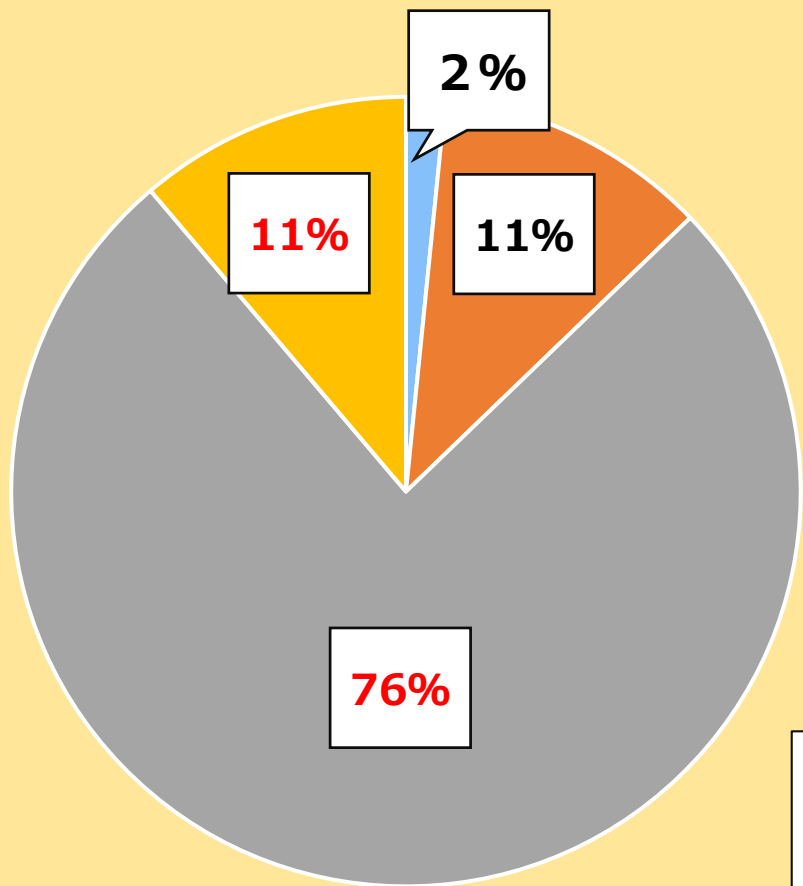
- ▲単元や学習内容の定着を図っていく。
- ▲緊急地震速報発表→シェイクアウトは身に付いてきているが、揺れが先にきた場合の対応ができない。
* 保護者の声より

90%程度の職員の意識向上

○職員防災意識調査

(1) 学校防災計画（災害対策マニュアル）
の理解度は高まったか

(2) 防災意識は高まったか



水色・・・低くなった
 赤・・・変わらない
 灰色・・・高くなった
 黄色・・・かなり高くなった

家庭

- 家庭の防災意識が高まり、対策を考えたり、実行したりしている家庭が増えた。
(家庭の減災カテスト結果より)
- ▲家庭の減災カテストや災害伝言ダイヤルクイズの参加が全体の半分程度であった。
→より多くの家庭が参加できる工夫

地域

- 避難所に関することについて、初めて自治会と連携を図ることができた。
- 自治会長さんの意識が変化**
 - 避難所に指定されている施設の担当者が集まる会議をしたい
 - 防災無線の実用性を検証
- ▲学校の防災安全委員会（年3回）に出席していただくなど、連携をより深めていく。
- ▲**避難所運営に関する課題が山積**
 - 定期的に検討できる体制

ご清聴ありがとうございました

